opusdei.org

属人区長のメッセー ジ(2022年6月14 日)

「家庭年」の閉幕にあたり、 オプス・デイ属人区長、フェ ルナンド・オカリス神父は、 家庭が教会と社会にとって大 切なものであることを考察し ます。

2022/06/14

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に! 今月の26日、教皇フランシスコが呼びかけた「家庭年」が終わります。 教皇様は、教会と社会全体における 家庭という制度の重要性について考 えるよう招かれました。

家庭は、自分があるがままに愛され ていることを自覚し、他者との関係 の中で愛することを学ぶ最初の場で す。どんな家庭にも長所と短所があ り、良い時もあれば困難な時もあり ます。しかし、神はどんな時にも、 一人ひとりを感謝と愛を持って見つ めるよう、私たちに呼びかけておら れます。他者を、その長所も欠点も 含めて、ありのままに愛するなら、 イエスと同じ心を持つことになるで しょう。聖ホセマリアは次のように 説明しています。「人の心はいくら でも大きくなる。愛するなら、愛情 はすべての障害を克服してどんどん 深くなるからである。主を愛するな ら、すべての人をそれぞれにふさわ しく愛することができるだろう|

(『十字架の道行』、第8留、黙想 のしおり5)。

キリスト教的な価値観に基づいて家 庭を築き始めた人たちは、多くの課 題に直面するでしょう。その中に は、家庭の義務と、仕事や社会的務 め、休息などを調和させることがあ ります。そのために、結婚生活の歩 みの最初から、彼らに寄り添うこと が非常に重要なことです。相乗効果 をもたらすそのような活動や取り組 みを、皆さんがさらに広げていくよ う励ましたいと思います。「永遠の 愛が可能であることを具体的な生活 で証ししている夫婦の愛の中に、キ リストの愛が生き、存在しているこ とを若い人たちが自分の目で見るこ とがどれほど大切でしょう」(教皇 フランシスコ、ビデオメッセージ、 2021年6月9日)。

今終わろうとしているこの「家庭 年」の実りをイエス、マリア、ヨセ フにゆだね、キリスト者のすべての 家庭が、ナザレの家庭を映し出すも のとなるよう願いましょう。

心からの愛情を込めて皆さんを祝福 します。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2022年6月14日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/Zokujinkuchou-messeeji-2022-6/(2025/12/16)